

平成 28 年 11 月 10 日

受益者の皆様へ

弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、昨日 11 月 9 日（水）、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して 5% 以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	11 月 9 日の 基準価額	前営業日比	ベンチマーク	11 月 9 日の 騰落率
農中日経 225 オープン	11,307 円	▲640 円 (▲5.36%)	日経平均株価	▲5.36%

○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、ファンドが組入れている国内株式の多くが下落したことに起因しており、当ファンドの騰落率につきましては、ベンチマークとほぼ同水準となっています。

○市況動向

11月9日（水）の国内株式市場は、日経平均株価が前営業日比▲919.84円（▲5.36%）の16,251.54円と大幅に下落しました。

この背景としましては、米大統領選においてトランプ氏優勢との報道が伝わる中、急速な円高の進行から業績への懸念が高まった輸出関連株を中心に、幅広い業種が大幅に下落したことが考えられます。

○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

下記の事項は、この投資信託(以下「当ファンド」という。)をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

記

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、主にわが国の株式を投資対象としますので、国内株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「流動性リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、日経平均株価です。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料(1口当り)・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.62%(税抜1.50%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金(解約)手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものであり、以下の合計額とします。

(1)ファンドの純資産総額に年0.648%(税抜年0.60%)の率を乗じて得た額。

(2)ファンドの保有する有価証券の貸付を行った場合は、その貸付による収益に48.6%(税抜45%)以内の率を乗じて得た額。

◆信託財産留保額(1口当り)・・・換金時にご負担いただくものです。

解約申込受付日の基準価額に0.30%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.00324%(税抜年0.003%)の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用(*)

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「費用と税金」をご覧ください。

(*)「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第372号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

商号等 農林中央金庫
登録金融機関 関東財務局長(登金)第270号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会